



(財)いわて産業振興センターでは、新たな事業の創出とその発展を図るため、第5回いわてビジネスプラングランプリを開催します。このビジネスプラングランプリでは、新しい独自のビジネスプランを募集しております。新規・独自性、市場性、社会貢献度等を評価し審査の結果、優秀と認められるビジネスプランを発表された方に部門ごとにグランプリとして50万円を助成し、ビジネスプラン実現に向けバックアップします。

なお、高校生部門については30万円の教材を贈呈します。

IWATE Business plan Grandprix 第5回いわてビジネスプラングランプリ 賞金50万円

募集期間 平成21年7月1日(水)～9月7日(月)

応募資格 [スタートアップ部門] ●県内で1年以内に創業を目指している方、若しくは県内において創業(個人・法人問わず)後3年未満の方で新技術やビジネスアイデアにより事業展開を図っている方。
[イノベーション部門] ●県内で創業後3年以上を経過し、新商品開発や新サービス開発等の新事業展開により事業革新を図っている方。
[高校生部門] ●県内の高等学校・高等専門学校であり、地域活性化のビジネスアイデアを有している教育機関。
(応募は、申込み単位は学校単位。1校につき最大2グループのエントリーを可能とします。)

主催 財団法人いわて産業振興センター

共催 いわて起業家サポーターネットワーク会議構成機関【岩手県、岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、国立大学法人岩手大学地域連携推進センター、公立大学法人岩手県立大学地域連携研究センター、フューチャーベンチャーキャピタル(株)岩手事務所】岩手県教育委員会

後援 (財)岩手県南技術研究センター、(財)釜石・大槌地域産業育成センター、(株)北上オフィスプラザ、花巻市起業化支援センター、宮古市産業支援センター、盛岡市産業支援センター (五十音順)

応募・問い合わせ 〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2
財団法人いわて産業振興センター 新事業・研究開発支援グループ 担当/山根・菅原
TEL.019-631-3825 FAX.019-631-3830 URL <http://www.joho-iwate.or.jp>



新ビジネスのための種と水やり

新事業・研究開発支援グループ
漆田 英一

配慮した「もったいない」という発想(水やり)こそビジネスチャンスにつながる可能性が秘められているのかもしれない。

当センターでは、県内中小企業等の新商品開発や新たな市場開拓により、新規事業化につなげられるよう、希望ファンド・農工商連携ファンド助成事業などを活用して、応援・支援いたします。

雇用不安の続く先行きの見えにくい経済不況の中、新たな農林水産業を活用したビジネスや企業の農業参入拡大を図る改正農地法の成立など、農林水産業に企業の販売力やノウハウを生かす「農工商連携」が注目されています。

6月にNHKの番組で取り上げられた農業経営者・木内氏の言葉には新規ビジネスへのヒントがふたつあったと感じました。

ひとつめは、「常識」を疑うこと。木内氏は、30代前半の若い農業者100名でグループを設立し、現在は年間売上1億円を越える人までいますが、本当に今やっていることが正しいのか、もっと良い手段はないのか、という出発点から日々模索しながら、きっかけ(種)を見つけてきたようでした。

ふたつめは、古き良き日本にはあった「もったいない」という気持ち。廃棄していた規格外野菜をカットして付加価値を高め、商品開発に取り組んでいました。環境にも